



## 洞爺湖サミットに先立って開催される G20 対話第 4 回閣僚級会合でのカーボン・オフセットをあらたサステナビリティが業務支援

(株)あらたサステナビリティは、洞爺湖サミットに先立って、2008年3月14日～16日に千葉市で開催される「気候変動、グリーンエネルギー及び持続可能な開発に関する対話」(G20対話※1)第4回閣僚級会合におけるカーボン・オフセット(※2)を支援することになりました。環境省から、平成19年度「気候変動、グリーンエネルギー及び持続可能な開発に関する対話」(G20対話)第4回閣僚級会合におけるカーボン・オフセットに係る温室効果ガス排出量算定業務」として、委託を受けたもので、日本政府による初めてのカーボン・オフセット事例となるものです。

温室効果ガス排出量の正確な算定は、種々のノウハウを必要とするものですが、(株)あらたサステナビリティは、これまでの温室効果ガスマネジメントでの知見を生かして、業務を提供していく所存です。ご期待ください。

※1 G20対話とは、正式名称を「気候変動、グリーンエネルギー及び持続可能な開発に関する対話」といい、2005年にイギリスで開催されたグレンイーグルズサミットにおける合意をきっかけに発足しました。世界の温室効果ガス主要排出国20カ国の環境・エネルギー担当大臣に加え、関係国際機関、産業界やNGO/NPOの代表等が参加し、気候変動・地球温暖化問題について議論を行います。G20対話の成果は北海道・洞爺湖サミットに報告される予定です。

<http://www.env.go.jp/earth/g8/g20/index.html>

※2 カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができないCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出について、[1]まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、[2]どうしても排出される温室効果ガスについてその排出量を見積り、[3]排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。イギリスを始めとした欧州、米国、欧州等での取組が活発であり、我が国でも民間での取組が始まりつつあります。

[http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon\\_offset.html](http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset.html)

お問い合わせ：(株)あらたサステナビリティ  
〒108-0014  
東京都港区芝浦4丁目2-8  
住友不動産三田ツインビル東館13階  
メールアドレス：aarata.sus@jp.pwc.com

株式会社あらたサステナビリティ認証機構および株式会社あらたサステナビリティは、環境・サステナビリティ情報のアシュアランスおよびアドバイザーサービスの提供を通じて環境・サステナビリティ・ディスクロージャーの発展を推進することを目的として、30カ国、400名余の専門家から構成されるPwC Sustainability Business Solutions Teamと連携しながら世界水準のサービスを提供しています。

© 2008 PricewaterhouseCoopers Aarata. All rights reserved.

'PricewaterhouseCoopers' refers to the Japanese firm of PricewaterhouseCoopers Aarata or, as the context requires, the other member firm of PricewaterhouseCoopers International Limited, each of which is a separate and independent legal entity.